学校番号	１２０４

令和８年度　学アート科

教科	学アート	科目	（学）美術研究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・半期しかなく授業回数が少ないため、授業内容は人数や受講生によって変化します。
・基本的には、グラフィックを中心に美術史や鑑賞系もするつもりです。一人ひとり、思いや見方、感じ方が違うので、表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方、表現を「鑑賞」「プレゼンテーション」で共有することによって、更に関心が広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
到達目標	美術に関する知識全般を身に付け、自分なりの表現方法ができるようになる。	社会的役割を学ぶとともに、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができるようになる。	多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、生涯に渡って美術を愛好する心を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術の知識全般に対する意欲・関心・態度・ユニークさなど意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、創意・工夫ができている。 きちんと調べて学んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、半期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	美術とは？	・オリエンテーション 授業ルール、内容・課題説明 【ステンシル】 ・陰刻、陽刻の違いを理解する。	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:普段から、美術がどのような形で生活に結びついているのかを見つけようとしている。 c:作品のよさや美しさを探求していき、その理解を深めている。	技法を理解しているか？ ワークシートの内容	オリジナリティがあり、きちんと表現できている ワークシートの内容	学習活動の様子、理解具合 完成作品
	色彩について	【色彩】 ・色彩基礎 混色の方法や色彩の基礎を身に着け、線や色から受けるイメージを表現する。 ・発表 自分の制作意図を人に伝える。	a:色彩の基礎を学び、美しい色の作り方をマスターするために学ぶ。 b:自分の表現したいことやイメージの構想をしっかりと練っている。 c:自分のイメージ通りに表現できたか、また、それを人にきちんと説明し、理解してもらえるか。	技法を理解しているか？ ワークシートの内容	計画通りの実施 プレゼンの内容 人のプレゼンの理解	学習活動の様子、理解具合 完成作品
	立体について	【立体】 ・展開図、紙の取り方の説明。 ・表現したい立体を正確に美しく制作する。	a:接着面を含めた展開図の取りのよい展開図を理解する。デッドスペースについて考察しようしている。 b:立方体の効率の良い制作手順を理解して、きちんと制作する。 c:　立体の定義を理解し、表現方法を工夫してどこから見ても美しい立体物を表現している。	美しい立体とはどういうものか理解している ワークシートの内容	計画通りの実施 ワークシートの内容	学習活動の様子、理解具合 完成作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度